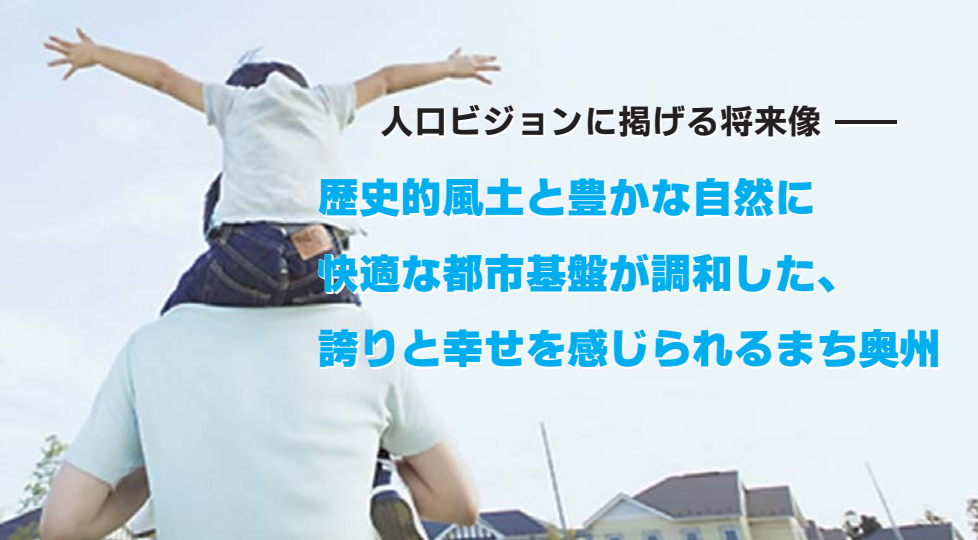




人口ビジョンに掲げる将来像 ――

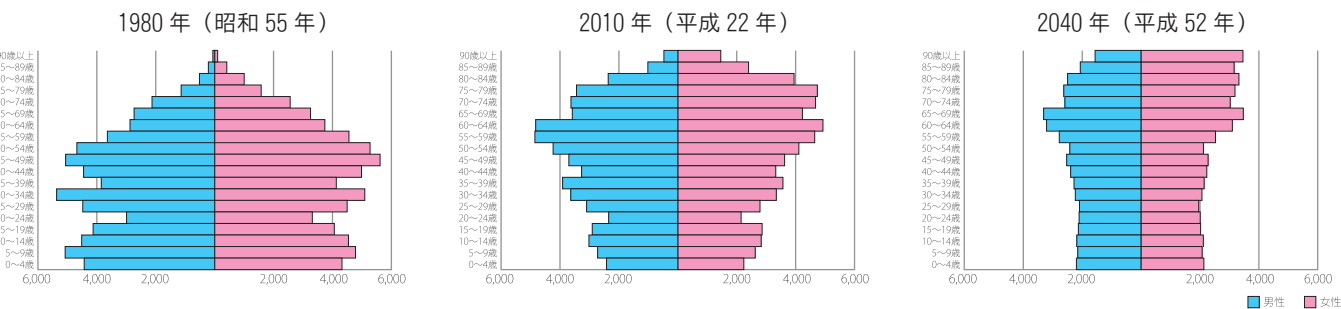
歴史的風土と豊かな自然に
快適な都市基盤が調和した、
誇りと幸せを感じられるまち奥州

奥州市人口ビジョンは、本市の人口の現状を分析し、人口の将来展望と今後目指すべき将来の方向を提示しています。まち・ひと・しごと創生の実現に向けた効果的な施策を実施する上での基本的な方向性を示すものです。

奥州市人口ビジョン

分析

下図の人口ピラミッドの推移を見てみると、1980年には65歳以上の高齢者人口が少ない「ピラミッド型」でしたが、2040年には年少人口や15歳～64歳の生産年齢人口が減少し、逆に高齢者人口が増加することにより「つぼ型」に変化していきます。特に、男性に比べて女性の高齢化が顕著となっていきます。



考察

人口が減少することは、消費財の需要が減少することとなり、その地域内での各種サービス産業の減少や撤退を招くこととなります。これによる市民生活の利便性の低下が、さらなる人口減少のきっかけとなり、右記のような地域社会の維持・存続に大きな影響を及ぼすことが考えられます。

- ▶ 労働力不足に伴う生産量の低下
- ▶ 高齢化の進行によるコミュニティ機能の低下
- ▶ 高齢者の増加による医療・福祉・介護需要の増加
- ▶ 少子化による地域文化の伝承に懸念
- ▶ 通勤・通学者の減少に伴う公共交通の経営効率悪化
- ▶ 税収の落ち込みによる市の財政の硬直化

目標

人口を増やすためには、地域内の雇用環境を充実させ、若者がこの地に留まり生活すること、市外からの若者を呼び込み社会増を図ること、出会いの機会を増やし結婚する男女が増え、子どもを産み育てるための環境を整えることで出生率を高めることに尽きますが、もう一つ重要な要素があります。それは、ここに住む人々が地域に誇りを持ち、幸せを実感して生活できているかということです。

地域に誇りを持つ市民が夢と希望を持ち、市内の至る所で、さまざまな活動が活発に行われるような地域であれば、その地域が衰退することは決してありません。そうすれば、施策の効果も高まり、人が集まる活気のあるまちとなります。

人口ビジョンで目指す人口目標

■出生率の向上
※（合計特殊出生率）
2015年現在 1.52
2020年までに 1.7 まで上昇
2040年までに 2.07 まで上昇

■社会的移動
人口増減
2020年まで ▲ 1,213 人
2025年まで ▲ 706 人
2030年までに増減「0」

■人口目標
2015年 121,282 人
2040年 94,177 人
2060年 80,160 人

※合計特殊出生率：1人の女性が生涯に何人の子供を産むかを表す数値

「奥州市人口ビジョン」と「奥州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定

さあ進め！！地方創生

市は、平成28年3月に2060年までの人口目標を定めた「奥州市人口ビジョン」と、人口目標を達成するための基本方針を定めた「奥州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。地方が自ら考え、そして責任をもって実行していくことが求められている今、奥州市の地方創生に向けた取り組みを紹介します。

■問い合わせ＝本庁政策企画課企画推進係（内線415）

地方創生の 主役は、地方のチカラです

活力ある社会を維持するために

人口減少と経済縮小の悪循環を断ち切り、将来にわたって活力ある持続可能な社会を築くことが大切です。これに向けて、国は2060年に1億人程度の人口を確保する「長期ビジョン」とそれを実現するための「総合戦略」を策定しました。

それぞれの地域に合った解決策を

地域が抱える課題はいろいろ。そのためその処方箋も地域によって異なります。県や市町村は、それぞれの地域の特性や実情に合った「地方人口ビジョン」と「地方版総合戦略」をつくり、その取り組みを進めます。

地方創生への取り組みには、一人一人の力が必要

地方の魅力は、そこで暮らす人々によって紡がれるもの。一人一人の取り組みが地方の新しい姿を創ります。

2000年以降に始まった人口減少は、今後さらに加速的に進むとされ、少子高齢化の進展への対応と人口の減少に歯止めをかけることが急務となっています。そのため、地域の住みよい環境を確保し、将来にわたって活力ある地域社会を維持する必要があります。

奥州市が将来にわたって活力あるまちであり続けるため、豊かな自然と快適な都市基盤が調和した生活利便性の高いまち、子育て環境に優れたまち、ふるさとに誇りを持ち、幸せを実感できるまちをつくることを基本方針に、この地で暮らす全ての人々とともに作り上げていきます。

地方に「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立し、地方への新たな人の流れを生み出すこと。その好循環を支える「まち」に活力を取り戻し、人々が安心して生活を営み、子どもを産み育てられる社会環境を作り出す。これが、地方創生に向けた、わたしたちに与えられたテーマです。